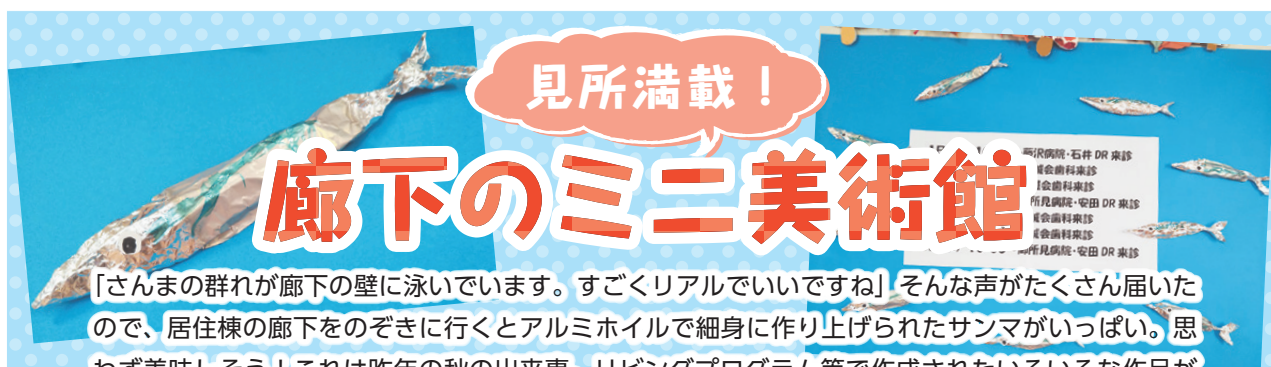




編集・発行 湘南希望の郷
〒252-0825 藤沢市瀬郷 1003
TEL0466-48-4500

Index

- 見所満載 廊下のミニ美術館 P1
- 家族からの手紙 P2
- せせらぎ会・希望のバトン P3
- 行事予定・編集後記 P4



「さんまの群れが廊下の壁に泳いでいます。すごくリアルでいいですね」そんな声がたくさん届いたので、居住棟の廊下をのぞきに行くとアルミホイルで細身に作り上げられたサンマがいっぱい。思わず美味しそう！これは昨年の秋の出来事。リビングプログラム等で作成されたいろいろな作品がこの廊下をミニ美術館に仕上げてくれています。展示が変わるたびに「誰のアイデアなんだろう」などと、作品の出来栄えに賞賛の声が上がります。今回はそんな廊下ミニ美術館の創作リーダー、アクティビティ担当の山崎職員に作品の作成過程やこだわりの作品紹介など、お話をいただきました。



無機質で少し寂しく長い廊下が、希望の郷の個性あふれるアーティストたちのギャラリーとして、美術プログラムのメンバーとともにコロナ禍で不自由な生活を強いられて沈みがちな気分を吹き飛ばせるよう、参加者とともに盛り上げていきたいという思いで「リビング」の時間を中心に今月の予定などの作品を仕上げて、掲示しています。

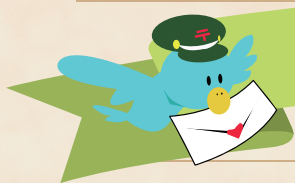
プログラム「リビング」は金曜日の午後、食堂を利用し参加者9名と職員2名で1時間ほど活動しています。リビングというと、家の中心にあって家族が集まり、思い思いにゆっくりくつろぐイメージがありますよね。文字通り、参加者がリラックスし、各々が楽しめる空間づくりを心がけながら、楽しい作品作りに向かいます。

反響の大きかったさんまは、目の不自由な方にも楽しんで参加できるように、身近にある素材で立体的に仕上げ、さんまをイメージしやすいように取り組みました。アルミホイルを切る人、アルミホイルを軽く握りさんまの形にする人、さんまに色をつける人など、役割を分担して月間予定表として作成しました。アイデアは本とか街を歩いて観た装飾品とか様々なところから頂いて、後は自分たちの好きなようにアレンジしていつて完成させます。季節や素材をよく考えて、見てくださる方たちにも共感していただけるようなものを作っていきたいと思って頑張っています。



アクティビティ担当 山崎

緊急事態宣言が発令されたこともあって、外出制限もかかり、家族との触れ合いもままならない日が続いています。きっと「元気だよ!」と聞いていても、やっぱり顔を見て手を握って安心したいと思っていらっしゃることでしょ。ご家族様からのお手紙、そんな思いがしっかり詰まって、たくさん届きました。住人さんも職員さんも皆で温かいご家族の気持ち、とっても嬉しく受け止めました。



家族からの手紙



純夫さんへ

コロナ感染が心配でなかなか行けないうえ、元気であるようなので安心しています。こちらでも皆元気です。職員の皆さんの言うことをよく聞いて、会える日が来るまで頑張ってください。(父 小沢 誉之彰さん)

恵美子さんへ

みいちゃん元気できてね。早く会ってギュウとしたいな。「お母さん大好きよ」と言ってくれて、とても嬉しいの。お母さんもみいちゃんのこと大好きなもの。1日を楽しく過ごしてね。元の日常に戻る日を楽しみにしています。(母 大宮 宏子さん)



淳史さんへ

藤沢市でも毎日沢山の感染者があり、困っています。早く収束させなければなりませんが、その期間の面会・外出中止は我慢してください。スタッフの皆さんに協力して過ごしてください。そうすれば従来と同じ生活が出来るようにきっとなりますので、それまでお待ちください。頑張れ頑張れ!! (父 渡邊 勇一さん)

かすみ姉へ

元気にしていると思いますが、なかなか逢いに行けなくてごめんね。ママも体力が落ちて、困っています。リハビリしながら頑張っていますよ。今度みつ子と一緒に逢いに行きます。つばさと一緒にいきますね。楽しみにしててください。(母 西本 英子さん)



美之さんへ

「今日は特に話すことも無いけど…」といいながら毎日のように電話をしていますね。声を出すことが大切で、私のボケ防止と安否確認(笑)心配してくれているのかな? これからも美之流ジョークを期待しています。(母 井出 由紀子さん)

浩美さんへ

お元気ですか? コロナという病気が流行っていて、お母さんも会えなくて寂しいです。コロナが収まったら、またみんなでお寿司を食べに行こうね。もう少しの辛抱です。一緒に頑張ろうね。(母 相澤 久さん)



直和さん・郷の皆様へ

郷でのお正月はいかがでしたか? 希望通信で郷のお正月の様子が分かり安心していきます。こちらは不要不急の外出を控えて、よく食べ、よく眠り、体を動かすよう心掛けて日々過ごしています。寒い日が続きます。郷の皆様、コロナ疲れもあると存じますが、くれぐれもお体大切にしてください。(母 東 節子さん)

せせらぎ会だより

もまざまの思い出す桜かな(芭蕉)



弥生三月。早春の光る花(猫柳)が、春の陽を浴びて夢見ごちに揺れています。春の訪れを心待ちにしていた野に咲く小さな花たちも、歓喜の色につつまれる季節を迎えました。しかし現実、コロナ禍で発令された緊急事態宣言が1ヶ月延長された状況では、さまざまな春のイベントや行楽の自粛は否めません。それは、この夏の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた賢明な判断だと思います。

現状では、年末年始の第3波の感染拡大の余波が予断を許さない状況下に於いては、ここで感染終息に向けたブレーキを弛めることなどできません。ひいては誰もが納得する科学的知見に基づく「安全安心」が担保された大会運営など絵空事になってしまいます。ましてや、この期に及んで東京オリンピック・

パラリンピック大会組織委員長が、まさかの女性蔑視発言の責任をとり辞職するなど言語道断です。

めぐり来る、あの「3・11東日本大震災」から十年。「復興五輪」をコンセプトに招致したオリンピック・パラリンピックが、今や新型コロナウイルスに世界が打ち克った証明としての五輪開催になってしまいました。日本でも、新型コロナウイルスのワクチン接種が医療従事者から随時始まりました。やっと春の陽光のような希望の光が差しはじめました。

ウイルスとの長い闘いの渦中、日常を取り戻す歩みは牛の如く前に進むしかありません。

牛はのろのろと歩く／牛は野でも山でも道でも川でも／自分の行きたいところへは／まっすぐに行く。牛は急ぐ事をしない／ひと足、ひと足、牛は自分の道を味はつて行く。遅れても、先になっても／自分の道を自分で行く。ひとをうらやましいとも思わない／自分の孤独をちゃんと知っている。(高村光太郎の「牛」から)

文責:自治会(K.I)



ライフ湘南 衛藤 要司

お久しぶりぶりです。希望の郷を去ってから2年が経とうとしています。障がい福祉センターひとりの一時預かりとあっとほーむひだまりでお世話になりましたが、今はライフ湘南で頑張っています。

今までは自閉症スペクトラム障害の方やダウン症の方とはほとんど関りがなかったので、この2年間はいろいろ勉強になり、改めて福祉の深さを知り、さらに楽しさも知ることができました。同じ障害でも、生き立ちや性格などで関わり方が変わるので、沢山の利用者さんと関わることで、お互いに成長していきたいですね。

また、利用者さんの純粋な気持ちには胸を打たれることばかりで、私が腰にコルセットをして仕事をしていると「衛藤さん大丈夫?休んでいいよ!」と声をかけてくれます。正直な話、健常者の方に言われても心に響きませんが利用者さんに言われると温かさを感じ嬉しくなります。

入所施設も通所施設も心の温かい関りが必要であることを確信しました。こんな真面目な話をすることはありませんので、永久保存版でお願いします。

次のバトンはあっとほーむひだまりの田中克也職員です。

野生の雉がいたよ

朝、車の前を大きな鳥が横切りました。「えっ!」と目を丸くして、思わず減速して鳥の姿を探しました。そこには鶏くらいの大きさで、尾っぽの長い茶色の背と深緑のお腹の雉がいました。20年位前にはかわうそ農園のあたりで見かけたことはありましたが、まだ、ここ瀬郷にはいてくれたんだね、と1日中ハッピーな気分でした。



にやりほっとニュース

10～1月号抜粋

希望通信1月号にてお知らせいたしました「にやりほっとニュース」、どんなことが書かれているのか、とっても覗いてみたくなっていたと思います。そこには思わずニヤリで、気持ちがホンワカしそうな場面の描写がつつられています。一緒に優しいその時間を思い浮かべてみてください。

普段、素足で過ごしている〇〇さん。「寒いんですか」と尋ねると、「足が長いんだよ」と足を伸ばしながら答えられる。「モデルみたいですね」というと、鼻で笑った様に「足が長そうだよ」と自身の足を触りました。

下膳を回っている職員を呼び止めた〇〇さん。口を開けて「ねえ見て！ほら！」と歯磨きしたことをアピールする。職員が頭の上で丸を作ると「まーる」と言って笑顔で本人もジェスチャーで答えてくれた。



昼食時「米がねえ!!!」と言ってきた〇〇さん。「マグロの下にありますよー!」と言うと「こんなに沢山食っていいの?」と言って大喜びされた。



トイレよりナースコールあり「今行きますのでお待ちください」と返答すると、同じトイレにいた〇〇さん「僕も行きます」と笑いながら答えてくれる。

献立委員会



2月2日は節分でした。2日に節分となるのは1897年以来124年ぶりだそうです。翌日の立春は季節が春へと変わる日なので、節分の日は「大晦日」に相当する大切な日だと言われて、鬼を退治する行事等があるようです。

そんな節分の日の郷は、残念ながら恒例の豆まきも見送りとなり、ちょっと物足りない感じでしたが、食事は季節感を受け止めていただきたいと献立はしっかり「節分」です。昼食には「福まめ」に見たてた「甘納豆」を、夕食は「恵方巻風太巻き寿司」で海苔巻きと稲荷ずしを用意しました。毎年海苔巻きは1本1本手作業で巻いています。入居者の皆さんは海苔巻きは大好きで、いつも少食な方も「美味しい!何個でも食べられる!」と言ってペロリと召し上がってくれます。大きく口を開けて美味しそうに頬張る顔を見られることはとても嬉しいです。今年は南南東向いて食べられたでしょうか?皆様に沢山の「福」が訪れますように。



◆3月の予定◆

健康課より

藤沢病院 石井Dr.来診

4日(木)

厚誠会歯科検診

2日(火) 9日(火)

16日(火) 23日(火)

御所見病院 安田Dr.来診

10日(水) 24日(水)



編集後記

今年の9月号から希望通信の編集担当になった新人です!わからないことだらけですが皆様に希望の郷の魅力を一生懸命伝えていきますのでどうかよろしくお願いします。私は写真を撮るのが趣味で、ゴツイー一眼レフカメラを持っています。住人さんのキラキラの笑顔や創作活動をしている真剣な顔を撮るのが大好きなんです。今年はイベントが軒並み中止となり、カメラの出番も少なくともとても残念。早くコロナが収束し希望通信に私の自慢の写真がたくさん載せられますように・・・! (R.M)